

非常勤講師の「氏名」「担当授業科目」「学位」「主な研究業績(3点以内)」

【非常勤講師】

氏名	担当授業科目	学位	主な研究業績
武井 昭也	教職入門 生徒指導・進路指導論	人文学修士	(1) 「養成校に求められるキャリア支援—学生の意識と求人傾向—」、2014、『全国保育士養成協議会研究大会』 (2) 「キャリア教育の課題と展望」、2010、『日本ビジネス実務学会北海道ブロック研究会』 (3) 「生徒がいきる高校国語科の授業実践」、2006、『共同文化社』
田辺 毅彦	教育心理学	修士(心理学)	(1) 著書「ソーシャルワーカーにおけるバーンアウト—その実態と対策」、2003、『中央法規出版』、共著 (2) 著書「人を助ける心理学入門」、2010、『培風館』、単著 (3) 論文「介護ストレスを再考する」、2012年3月、『認知症ケア事例ジャーナル 4巻4号』、単著、378-388頁
二通 諭	特別ニーズ教育論	教育学士	(1) 著書『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』、2015年8月、全国障害者問題研究会出版部、単著、1-136頁 (2) 著書『障害児も教育権保障と教育実践の課題 養護学校義務制実施に向けた取り組み取り組みに学びながら』ながら、2014年12月、群青社、編著、第2部9「養護学校義務制前史を周縁部の動きから捕捉する」を執筆、215-227頁 (3) 著書『小・中学校の教師のための特別支援教育入門』、2020年4月、ミネルヴァ書房、共著、第5章5「特別支援教育の展望」を執筆、166-173頁
片岡 晃	教育課程論	修士(教育学)	(1) 日本教師学学会第23回年次大会発表「高等学校長は教員人事評価をどのように感じ対応しているか」2022年3月 (2) 日本教師学学会第21回年次大会発表「教員人事評価制度の問題点と改善方向について」2020年3月 (3) 日本教師学学会第20回年次大会発表「教員人事評価の問題点」2019年3月
岡積 義雄	総合的な学習の時間の指導法	教育学修士	(1) 論文「高等学校『総合的な探究の時間』に向けての考察 ～学校にある教育実践の活用法～」、2018、『北海道医療大学教育実践論集』第1号、単著、1-11頁 (2) 教育実践記録「性と生」(公民科公共・総合的な探究の時間)～LGBTについて～、2018年3月、札幌市教育委員会『平成29年度人権教育推進事業研究推進校における研究成果報告書』、単著、30-32頁

			(3) 論文「特別支援学校における地域調査（高校地理A・中学地理・総合的な学習の時間）の取り組み～札幌市西区山の手地区の教材化～」、2018年5月、『札幌地理サークル会誌』第51号、単著、1-7頁
川端 里香	特別活動の指導法	修士（人間福祉学）	
村田 政孝	教育実習指導 教育実習 教職実践演習（高）	教育学士	(1) 研修主題「時代や社会の変化、多様な生徒に対応した教育の在り方について研究する」、2012、『研究と活動』第38号 (2) 「北海道教育の現状と課題」、2011、『北の教育』（日本教育会北海道支部） (3) 「目から鱗が落ちる」2010、『北海道指導主事会教育北海道』NO.84
千原 治	教職実践演習（高）	文学士	(1) 講話「必ずや名を正さんか」、2015年11月4日、『全道進学指導セミナー（国語）』、単独 (2) 講演「温故知新」、2016年1月12日、『北海道高等学校教頭・副校長会道南支部研究協議会』、単独
栗田 郁子	スクール(学校)ソーシャルワーク演習	修士（文学修士）	
佐々木 敏明	精神保健学 I 障害基礎医学	文学士	(1) 「PSWの歴史」、2014、『心と社会』（日本精神衛生会） (2) 「精神保健福祉の歴史と理念」「チーム医療と精神保健福祉の役割」『精神保健福祉の理論と相談援助の展開』、共著、2013、へるす出版 (3) 「わが国における精神保健福祉の歴史」『これからの精神保健福祉第4版』、共著、2009、へるす出版
高橋 勇造	地域連携（地域ボランティア論）	学士（工学）、会計修士	(1) 著書「コロナ禍の学習支援 - 様々な学びの機会を子どもに提供 -」、2021年3月、『さっぽろ子ども・若者白書2020』、共著、194頁 (2) 論文「青年期の発達課題と心の教育に関する実践事例について」、2020、『北海道医療大学看護福祉学部教育課程運営委員会教職課程教育実践論集』第2号、単著、41-46頁
下出 崇輝	精神医学	医学博士（精神医学）	(1) 原著論文「ワーキングメモリー課題/自己参照課題遂行中の脳波α帯域事象関連同期/脱同期について-ヒト健常者における検討-」、2019年4月、『臨床神経生理学』47(2) 74-81頁
土田 正一郎	精神医学	医学士	

白坂 知彦	精神医学	博士(医学)	<p>(1) Nagisa Sugaya, Tomohiro Shirasaka, Kenzo Takahashi, Hideyuki Kanda, Bio-psychosocial factors of children and adolescents with internet gaming disorder: a systematic review. BioPsychoSocial medicine 13 3 - 3 2019</p> <p>(2) Gupta, K. K. Gupta, V. K. Shirasaka, T. An Update on Fetal Alcohol Syndrome-Pathogenesis, Risks, and Treatment, Alcoholism, clinical and experimental research, 2016 Aug;40(8):1594-602. doi: 10.1111/acer.13135. Epub 2016 Jul 4.</p> <p>(3) Shirasaka T, Hashimoto E, Ukai W, Yoshinaga T, Ishii T, Tateno M, Saito T. "Stem cell therapy: social recognition recovery in a FASD model" Translational Psychiatry (2) e188, 2012. DOI : 10.1038/tp.2012.111</p>
阿部 幸弘	精神医学	学士(医学)	<p>(1) 著書「解決志向リハーサルブック」、2017年8月、遠見書房、共著</p> <p>(2) 「ひきこもりの理解と支援 孤立する個人・家族をいかにサポートするか」、2021年3月、遠見書房、共著</p> <p>(3) 論文「ピアサポーターと協働した精神科『社会的入院』患者に対するのモチベーション・サポート実践～多施設合同研究」、2019年9月、日精診ジャーナル、共著</p>
今野 邦彦	肢体不自由者の心理・生理・病理 肢体不自由教育	修士(教育学)	<p>(1) 論文「札幌市における肢体不自由教育の発展(3)養護学校義務化とつぼみ学級存続問題」、2020、『藤女子大学QOL研究所紀要』15(1)、単著、15-23頁</p> <p>(2) 論文「肢体不自由教育と臨床教育学」、2018、『北海道大学大学院教育学研究院紀要』132号、単著、59-74頁</p> <p>(3) 論文「肢体不自由教育における自立活動指導者の専門性の変遷」、2014、『北海道大学大学院教育学研究院紀要』120号、単著、159-177頁</p>
世良 彰康	病弱者の心理・生理・病理	博士(作業療法学)	<p>(1) 実践講座「地域で展開する作業療法士の挑戦」、2014、『北海道作業療法』31(suppl):、単著、44-44頁</p> <p>(2) 実践講座「障害児通所支援事業における作業療法の取り組みについて」、2014、『北海道作業療法』31(1)、単著、15-22頁</p> <p>(3) 発表「自閉スペクトラム症児の集団作業療法による適応行動の変化」、2019、『日本作業療法学会抄録集』53、共同、1059-1059頁</p>

藤根 収	統合教育	修士(教育学)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「ちかい・やさしい・あたらしい」センターの取組」、2013、『上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要第20巻』 (2) 「特別支援教育を推進する学校運営等の活性化のためのプロジェクト実践」、2017、『上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要』第23巻 (3) 「特別支援教育の子どもをめぐる問題の対応のために」、2020、『北海道医療大学教職課程教育実践論集』第2号、単著、47-55頁
永根 道史	病弱教育 特別支援学校教育実習	法 学 士	<ul style="list-style-type: none"> (1) 論文「特別支援学校(病弱)高等部における新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成について」、2020、『北海道医療大学看護福祉学部教職課程教育実践論集』第2号、単著、31-40頁
前佛 誠	視覚障害児教育論	教育学士	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「個人別指導計画の作成による養護・訓練の指導～インフォームドコンセントの導入～」、1997、『全日本盲学校教育研究大会奈良大会研究集録』 (2) 「点字読み書き盲力の向上を図る研究」(共著)、1989、『北海道札幌盲学校研究紀要朔鵬』第13号(1) (3) 「盲児用図形知覚発達検査の試作研究」、1987、『心身障害教育研究財団論文集』
佐藤 健一	発達障害児教育論 重複障害児の指導法	教育学士	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学生による障がい児ボランティア活動の記録「学生の心を耕す」平成22年～27年 (2) ITを活用した大学の授業づくりの研究平成25年～26年
長谷川 聡	言語障害児教育論	文学修士	<ul style="list-style-type: none"> (1) 論文「Characterísticas del aspecto durativo de las vocales en el habla de los niños dordos y normales」(聴覚障害児と健聴児にみる母音発話持続時間の特徴、原文スペイン語)、1982年3月、『上智大学大学院』、単著 (2) 論文「Predictive method on the development of independent functioning of severely and profoundly mentally retarded children」、1990年4月、『Bulletin of the Tokyo Metropolitan Rehabilitation Center for the Physically and Mentally Handicapped』、共著、21-35頁 (3) 発表「段階評価の順序性と距離について」、1992年10月、『日本社会福祉学会』、共同
鳴海 昌江	自立活動の指導法	教 職 修 士 (専門職)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 『教職課程における実践的指導力育成の試み～社会科教育法及び病弱教育における実践より～』平成28年12月「地域創成学 Vol.6 No.1」単著 57-68頁

			<p>(2) 教員の資質向上に関する一考察～教職課程における今後の実践の方向性～ 平成31年3月 北海道教育大学大学院高度教職実践専攻研究紀要第9号 単著 79-88頁</p> <p>(3) ローカル・オプティマムを重視した「特色ある教育」の推進—生徒の健やかな成長と一人の人間としての尊厳を尊重して— 平成30年3月 北星学園大学教職課程年報第1号 単著 33-44頁</p>
反保 公志	特別支援学校教育実習指導 特別支援学校教育実習	学士(社会福祉学)	<p>(1) 論文「特別支援教育独自の指導領域「自立活動」に関する一考察～よりよく「らしく」生きるための豊かな人間関係(教育環境)をめざして～」、2020、『教職課程教育実践論集』第2号、単著、21-30頁</p> <p>(2) 論文「特別支援教育実習指導を通して学ぶこと～教材を通して指導の根拠を明らかにする実践～」、2022、『教職課程教育実践論集』第3号、単著、19-26頁</p>
大友 駿	民法	修士(社会福祉学)	<p>(1) 論文「地域福祉における公共性の変質と再興：市民的公共圏を用いた理論枠組みの検討」、2014年3月、『北星学園大学大学院論集(5号)』、単著、49-66頁</p> <p>(2) 論文「プラーヌクストツェレの手法を活用した地域福祉計画策定の試論」、2015年3月、『北星学園大学大学院論集(6号)』、単著、13-31頁</p> <p>(3) 調査報告「北海道における生活困窮者自立支援制度の現状と課題：2015年度の実態調査から」、2016年3月、『北海道の福祉(21号)』、共著、23-53頁</p>
佐久間 仁	行政法 権利擁護・成年後見制度論	社会福祉学 士	
川匂 亜紀奈	社会保障論	修士(臨床福祉学)	
熊谷 良介	社会保障論	修士(教育学)	<p>(1) 論文「母子生活支援施設を退所した子どもの生活」、2019年3月、『北海道社会福祉研究第39号』、単著、19-27</p> <p>(2) 論文「きょうだい数と子どもの年齢からみるひとり親家庭における子育てと就労：北海道ひとり親家庭生活実態調査をもとに」、2020年2月、『教育福祉研究第24号』、5-19</p> <p>(3) 論文「Millar, JとRidge, Tによる母子世帯に対する質的縦断的調査のレビュー」、2021年9月、『教育福祉研究第25号』、1-7</p>
水野 浩二	福祉哲学と倫理	博士(文学)	<p>(1) 著書『現代フランス哲学入門』、2020年7月、ミネルヴァ書房、共著、ヴァール・ルノー・ダゴニエを執筆</p> <p>(2) 翻訳 サルトル『イメージール』、2020年5</p>

			月、講談社学術文庫、共訳、463 頁 (3) 著書『倫理と歴史 一九六〇年代のサルトルの倫理学』、2019 年 10 月、月曜社、単著
百野 公平	医学一般	理学士、医学士	
村田 尋如	公民科教育法	政治学修士 学士（教育学）、修士 （政治学）	(3) 著書「マンガと図解で知る③親鸞ーその人と思想」、2020 年 4 月、『清水書院』、共著 (4) 論文「「公民科」における新科目「公共」についてー「公共」の内容と取り扱いを踏まえた授業の在り方ー」、2020、『教職課程 (5) (6) 』第 2 号、単著、57-66 頁 (7) 論文「「公民科教育」における「授業力」向上の取り組みー実践的公民科教育法試論ー」、2018 年 3 月、『教職課程 教育実践論集』第 1 号、単著、53-63 頁
堂徳 将人	公民総合	学士（経済学）	